

組織・グループ名	大平台あじさいの会
活動区分 ※いずれか1つに○をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般助成 <ul style="list-style-type: none"> ①当事者支え合い・当事者支援の促進 ②地域福祉ニーズ(課題)への対応 ③福祉の学び(参加型福祉教育)の推進 ④福祉コミュニティの構築] ● 協働事業助成 <ul style="list-style-type: none"> [1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動 2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動]
助成事業名	大平台あじさいの会

助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。

「地域ことは地域で解決」を目的に、大平台の住民の方々により「庭木の剪定」「ゴミ出し」「買い物支援」等の生活支援活動を実施しています。

令和2年度はコロナ禍により予定していた研修会等が実施できませんでした。しかし、住民の皆さんの生活支援依頼はコロナ禍に関係なくあり、令和2年度は感染対策をしながら100件を超える依頼に対応しました。また、新たな活動としてフードバンクと連携した「見回り隊」も開始し、地域の見守り力の向上にもなっています。

発足から3年となり、地域に根差した活動となっています。今後は大平台あじさいの会の活動をベースとした、「大平台地区社会福祉協議会」の創設にむけて動いており、地区社協化されれば地域内の他の住民活動(老人クラブ・サロン・運動教室等)と連携してさらに地域を盛り上げて行くことができます。

～生活道路兼公園の草刈りの様子～

大平台名物の「あじさい」が植えられており、住民のみならず観光客の目も楽しませている通路兼公園です。雑草取りと、あじさいが綺麗に咲くよう手入れをおこないました。緑豊かな箱根は“生活”と“自然”の距離がとても近いです。



～見回り訪問隊の様子～

令和2年度より、新規事業「見回り訪問隊」を開始しました。フードバンクをおこなうNPO法人との連携により、地区内の主に高齢者宅を訪問し、見回りながら菓子や醤油などの食料品を配付する活動です。

「食品を渡すことで、家の中の様子を見ることもできるためちょっとした変化がわかる」という活動です。

